

**保護者および地域説明会で寄せられた主な意見等に対する区の考え方  
(3月8日、9日、16日分)**

**I 小中一貫教育校について**

No.	主な意見	意見に対する区の考え
1	○小竹小学校を卒業後に（仮称）みらい青空学園の中学校に入学する場合、（仮称）みらい青空学園の小学校から入学している児童と学習の進捗に差が出ないのか。	○（仮称）みらい青空学園の小学生は、中学校の先取り学習は行いません。各学年で学ぶ内容はどの学校も同じです。 ○そのため、（仮称）みらい青空学園の小学校に入学しても小竹小学校に入学しても学習の進捗に差は生じません。
2	○小中一貫校となった場合、運動会や音楽会といった行事は小中合同で行われるのか。	○運動会や音楽会等の行事の実施方法については、小中一貫教育校の特色や各行事の目的を踏まえ、今後検討していきます。
3	○小中一貫教育校のデメリットを教えてください。	○人間関係の固定化、小中の区切りのつけ方が難しいといったことが考えられます。 ○大泉桜学園では6年生がリーダーシップを発揮できるような教育活動を行う等、工夫をしています。
4	○つくば市は、小中一貫教育校の教育効果についてデメリットが大ききことから小中一貫教育校の設置をやめたと聞いている。	○つくば市の見解は、学校が次々に大規模化していく中で小中一貫教育校の設置は難しいというもので、教育的な課題のみを理由に小中一貫教育校を設置しないというものではありません。

**II （仮称）みらい青空学園の名称について**

No.	主な意見	意見に対する区の考え
5	○統一学園名が通称名ということが分かりづらく、旭丘小学校・旭丘中学校の校名が変わると思っていた。	○統一学園名は、小中一貫教育校としての一体感を醸成するためのチーム名としての名前（通称名）です。 ○新校開校後も旭丘小学校・旭丘中学校の名前は使用します。

6	<p>○履歴書など公的な書類に記入する際は、(仮称)みらい青空学園と旭丘小学校、旭丘中学校のどちらの名前を使うのか。</p>	<p>○公的な書類に記入する際は、条例の正式名称である旭丘小学校、旭丘中学校を使います。</p>
7	<p>○(仮称)みらい青空学園が開校し、後から小竹小学校が統合された場合、小学校名はどうなるのか。</p>	<p>○過去の練馬区の統合の事例を踏まえると、旭丘小学校と小竹小学校の両校が廃止となり1つの小学校になります。</p> <p>○1つにまとまって新しい学校となった場合は、新しい小学校名を考える必要があると考えています。</p>
8	<p>○みらい青空学園とえこだ学園の得票差は僅差だった。2つの統一学園名で決戦投票をする意向はなかったのか。</p>	<p>○どの名称もそれぞれの思いがあるため、得票数が僅差になる可能性があることを認識のうえ、投票を実施しました。</p> <p>○多数決で決定するというルールをお知らせしたうえで投票を実施したことから、再投票等の選定方法を変更する考えはありません。</p>
9	<p>○旭丘学園が公募の段階で一番多かった名称にも関わらず、最終候補に残らなかったのか。また、みらい青空学園が最終候補になった経緯を公表してほしい。</p>	<p>○小中一貫教育校の名称が旭丘学園になった場合、小竹という名前が残らないこととなります。</p> <p>○小中一貫教育校推進委員からも旭丘・小竹地域の子が通う学校として配慮が必要であると声をいただき、区は旭丘学園の案を候補から外しました。</p>
10	<p>○統一学園名がみらい青空学園に仮決定したのは唐突な感じがする。地域にしっかり説明してほしい。</p>	<p>○検討の中で、「みらい」という言葉を推す意見が多くあり、「えこだ未来学園」などが候補にあがりました。</p> <p>○その後の調査の結果、「みらい学園」という名称は、商標法に抵触する可能性が高いことが判明したため、「みらい」という言葉を残しました。</p> <p>○推進委員の発案により、「みらい」と「青空」を組み合わせた「みらい青空学園」を最終候補の1つとすることとなりました。</p>

### Ⅲ (仮称) みらい青空学園の標準服・校章・学校行事等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
11	○標準服の導入の可否についてアンケートをとる際は、標準服を導入することのメリット・デメリットを伝えたくて総合的に判断してほしい。	○いただいたご意見を踏まえ、アンケートの内容を検討します。 ○アンケートの回答を踏まえ、標準服の導入の可否や導入する場合の仕様(学ラン・セーラータイプかブレザータイプか等)をPTA代表者、教職員で構成される校章・校歌検討部会で総合的に判断します。
12	○小学生から中学生まで紺色のVネックセーター、白いポロシャツ、グレーのズボンまたは、スカートも標準服のアンケートを取る際の選択肢に追加してほしい。また、標準服を導入したとしても、入学式や卒業式等の式典での着用を基本としても良いと思う。	○標準服を導入する場合、標準服の着用についての考え方を整理する必要があると考えています。
13	○小学生に標準服はなくても良いと思う。	○標準服については、標準服等検討部会を中心に、児童・生徒や保護者、教職員のご意見を伺いながら、導入の有無等を検討していきます。
14	○校歌に入れたい言葉を応募できる対象者について教えてほしい。	○児童・生徒や保護者、教職員、3大学(日大芸術学部、武蔵大、武蔵野音大)の方、地域の方を対象に校歌に入れたい言葉を募集し、制作する予定です。 ○地域の学校であることから対象者を広げず、旭丘・小竹地域の方々を中心に応募していただこうと考えています。
15	○(仮称)みらい青空学園に新しい部活を作ってほしい。	○生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる部活動の設置を検討していきます。
16	○入学前に(仮称)みらい青空学園と小竹小学校、どちらが良いか判断できる学校見学などのイベントがあると良い。	○現在、練馬区立小中学校においては、年間4回の土曜授業公開日を設定するとともに、学校行事や学校説明会等において学校の様子を知る機会を設けています。

17	○（仮称）みらい青空学園の小学校と中学校それぞれに PTA が組織されるのか。	○（仮称）みらい青空学園の PTA の設置や運営については、学校と保護者で検討していただく内容になります。
----	---	---

#### IV（仮称）みらい青空学園の施設整備等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
18	○（仮称）みらい青空学園の施設について、特徴や工夫しているところがあれば教えてほしい。	<p>○北棟と南棟を渡り廊下でつなぎ、一体的な校舎にしています。</p> <p>○体育館と校庭が2つずつあります。屋内プールは温水で、小学生から中学生まで使うことから発達段階に合わせて水深の深さを変えられる可動式です。</p> <p>○北棟の校舎は1つのフロアに小学生と中学生の教室を設置し、交流事業等を実施できるよう工夫しています。</p> <p>○旭丘小学校、旭丘中学校に設置していた特別支援学級を新校にも設置します。</p> <p>○複合施設として、学童クラブや街かどケアカフェ等を設置します。</p>
19	○校庭が2つできるとのことだが、学年ごとに使い分けるのか。	<p>○南棟に近い第一校庭を主に中学生が使い、北棟に近い第二校庭を主に小学生が使うことを想定しています。</p> <p>○実際の使い方に関しては、学校と相談をしながら検討していきます。</p>
20	<p>○旭丘中学校の東側の道路を拡幅することだったが、具体的な工事計画などはどのようになったのか。</p> <p>○また、ガードレールの設置など、車のスピードを減速させるような工夫はあるのか。</p>	<p>○東側の道路は道路の中心から3m程度に拡幅する予定です。今の道路幅が3.7m程度なので、拡幅後は5m程度に広がる予定です。</p> <p>○現在、新規の歩道の設置については、車いす利用者とのすれ違いを考慮し、2m程度を想定しています。そのため、ガードレールの設置は困難です。</p>

21	○入出校管理は、IDカード等を行うなどセキュリティを強化してほしい。	○敷地内に防犯カメラを設置するほか、夜間は機械警備による管理を行います。また、校門に電気錠を設置します。
22	○（仮称）みらい青空学園のねりっこクラブの開始時期は、いつ頃か。	○令和8年4月を想定しています。

## V 就学の特例について


No.	主な意見	意見に対する区の考え
23	○小竹小学校に現在通っている児童も希望すれば（仮称）みらい青空学園に入学することが可能なのか。また、小竹小学校に限らず違う通学区域の児童も希望すれば通えるのか。	○小竹小学校の通学区域にお住まいの5歳児（新小1）の保護者宛に教育委員会から9月頃に就学の特例のご案内を送付します。希望すれば（仮称）みらい青空学園に入学することができます。 ○小竹小学校の在校生は、途中から（仮称）みらい青空学園に入学することはできません。 ○他の通学区域にお住まいのお子様は原則入学することができません。
24	○小竹小学校は、現段階で12学級以上確保されている。旭丘小学校の過小規模を解消するために、就学の特例を設けて小竹小学校の学級数が減るような対応をするのはいかがなものか。	○就学の特例は、中学校の通学区域にお住まいのお様が9年間を一貫した学校に在籍することができる小中一貫教育校の特例制度です。 ○就学の特例は小竹小学校の統合に関係なく、制度として小竹地域の保護者の方々にご案内しています。
25	○就学の特例の対象は小学校新1年生のみとのことだが、在校生が対象ではない理由を教えてください。	○小竹小学校の在校生に就学の特例を適用すると、在校生が新校に転校できるようになります。転校する子どもとしない子どもに分かれてしまい、クラスの人数が減っていく可能性があります。 ○そのため、個別の事情で配慮が必要な場合を除き、小竹小学校の在校生に就学の特例を設ける予定はありません。


26	○令和5年度から就学の特例を始めたとのことだが、どのくらいの方が就学の特例を利用したのか教えてほしい。	○10人に満たない程度です。
27	○現在、上の子が小竹小学校に通っている。就学の特例を使って下の子が旭丘小学校を選んだ場合、上の子は旭丘小学校に転校することはできないのか。	○ご兄弟が他校へ入学する等、特別なご事情がある場合は、指定校を変更できる場合がありますので、学務課学事係にご相談ください。

## VI 小竹小学校の施設整備等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
28	○小竹小学校にエアコンを導入してほしい。	○普通教室は既にエアコンを設置済みです。体育館については、令和6年度の夏休み期間中に工事を行い、2学期から使用できる予定です。
29	○小竹小学校の校舎を建て替えてほしい。	○小竹小学校は、旭丘小学校・旭丘中学校と統合する方針を持っているため、建て替えの予定はありません。なお、必要な修繕は随時行います。
30	○小竹小学校に学童クラブを設置してほしい。	○校内学童クラブの設置については、小竹小学校の今後の方針に合わせて結論を出す予定です。
31	○小竹小学校が存続している間は、小竹小学校に通う子どもたちの環境（ハード面、ソフト面）についても整備してほしい。	○小竹小学校の教育環境および安全面等において必要な修繕は、今後も実施していきます。 ○引き続き学校教育の充実を図り、児童に良好な教育環境を提供していきます。
32	○小竹小の校舎は平成21年に耐震改修工事が終了しているとのことだが、この躯体はあと何年ぐらい使える設計なのか。	○耐震に対する基準値（Is値）は基準を満たしていますので、安心して使っていただけます。 ○日常的な点検、定期点検、法定点検等、適切な維持管理を行っており、これまでも必要な工事は順次行っています。今後も適切に進めていきます。

## Ⅶ 小竹小学校の統合について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
33	○小竹小学校の在校生が新校に移らず、そのまま小竹小学校で卒業できるようにしてほしい。	○小竹小学校に在籍している、あるいは今後入学するお子様が確実に小竹小学校を卒業できると約束することはできません。
34	○統合後、(仮称) みらい青空学園に通う場合、通学距離が 1.5km 程度になる。安全な通学路を確保してほしい。	○スクールゾーンや防犯カメラの設置箇所等の見直しについて検討し、通学路の安全・安心に配慮していきます。
35	○小竹小学校の具体的な統合時期を明示してほしい。	○現時点で統合時期は決定していないため、いつ頃公表できるか明示することはできません。 ○統合を行う際は、最低でも 2 年程度の準備期間を設けます。
36	○今後の統合方針等に関する内容について把握したい。広く周知してほしい。	○令和 6 年 3 月に第二次適正配置基本方針を策定しました。掲載場所は下記のとおりです。  練馬区ホームページ > 子育て・教育 > 教育 > 学校教育・施設 > 区立学校の適正配置の推進 > 区立学校の適正配置の方針 > 第二次区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針   ▲第二次適正配置基本方針（区 HP）
37	○小竹小学校の統合時期は、具体的にどういう状況になったら統合の決定を判断するのか。判断基準となる学級数があるなら教えてほしい。	○旭丘・小竹地域の児童・生徒全体の人数を見て統合の判断を考えていきます。そのため、小竹小学校の学級数だけで決定するものではありません。

38	○小竹小学校の統合に反対する。 小竹小学校を残したうえで（仮称）みらい青空学園を良い学校にしてほしい。	○小竹小学校については、現状は適正規模となっていますが、旭丘小学校・旭丘中学校については今後も適正規模の確保は困難な見込みです。 ○また、区全体の人口推計では、今後、年少人口は減少傾向となる見込みであり、3校を再編し新たな小中一貫教育校を設置するという基本的な考え方については変更ありません。
39	○小竹小学校をなくさないでほしい。	○統合を決定する際は、区全体の児童数の減少だけでなく、個別の地域やその他の要素も含めて検討しなければならないと考えています。
40	○適正規模・適正配置のためだけに小竹小学校を統合しないでほしい。	
41	○統合をするにあたって、心のケアに携わるスタッフの配置が必要になるほど子どもが追い込まれるものなら、小竹小学校の統合は、子どものためを思ってやらないと思う。	○お子様の環境の変化に丁寧に対応することが必要だと考えています。
42	○光が丘第一小学校と光が丘第二小学校が統合して光が丘四季の香小学校になったと聞いた。統合する際、児童の意見は聞いたのか。聞いたのであれば、公表してほしい。	○学校統合のアンケート調査結果を公表しています。掲載場所は、下記のとおりです。  練馬区ホームページ > 子育て・教育 > 教育 > 学校教育・施設 > 区立学校の適正配置の推進 > これまでの適正配置の取組 > 光が丘地区の小学校の適正配置   ▲学校統合のアンケート調査結果等（区 HP）



43	○小竹小学校の跡地は柔軟に活用できる区立施設として残してほしい。	○第二次適正配置基本方針に則り、新たな区民ニーズに応える機能への転換等を検討します。
44	○小竹小学校を統合するなら、なぜ新校舎は小竹小学校の児童が全員入れるだけのキャパシティを確保していないのか。	<p>○3校統合の方針がある中で、先行して2校の設置を進めています。そのため、旭丘小学校・旭丘中学校の児童・生徒に加え、小竹地域から新校への小学校就学希望が一定程度あった場合も受入れ可能な規模に設定しています。</p> <p>○普通教室は、向こう5年間の将来人口推計である東京都教育人口等推計等を踏まえ、小学校・中学校ともに各学年2クラスを想定して設計しています。</p> <p>○併せて、小学生と中学生の普通教室の面積を統一して、クラスの増減に柔軟に対応するとともに、少人数教室の転用等の教室の利用方法見直しにより、将来の児童・生徒数増に対応できる計画としています。</p>

## VIII 情報発信について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
45	○新しい取り組みである Zoom 配信のおかげで説明会に参加しやすくなったのは良かったと思う。	○今後も、より良い情報提供に努めていきます。
46	○インターネットで区に意見を送る際に、入力者の所属や住んでいる地区については任意記入にしてほしい。	○いただいたご意見は、今後の運営方法の参考にさせていただきます。
47	○区 HP に掲載しているこれまでの検討経過である報告書に、検討状況や決定までの過程をもっと詳細に書いてほしい。	

## IX その他

No.	主な意見	意見に対する区の考え
48	○旭丘小学校の学級数が今後も適正規模に満たない場合、引き続き過小規模になると思うが、小中一貫教育校にすることで対象校から外れるのか。	○小中一貫教育校についても 18 学級から 27 学級を適正規模と定めています。
49	○来年度に策定する実施計画は、練馬区全体の学校を精査し、統合する必要がある学校については、検討を進めていくのか。	○実施計画では、旭丘・小竹地域を含めた練馬区全体において、対象校の将来の児童・生徒数や近隣の学校との位置関係等の様々な条件を鑑み、適正配置の具体的な検討を行う予定です。
50	○小竹小学校のために個別の説明会を開催していただき、ありがとうございました。	○今後も定期的に説明会を開催するなど、児童・生徒や保護者、地域の皆様に対し、引き続き丁寧に情報提供を行っていきます。